

第 34 回群馬県ジュニアゴルフ選手権（兼）関東ジュニアゴルフ選手権群馬予選競技

開催日：2022年5月8日（日） 開催コース：赤城ゴルフ倶楽部

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「一般の罰(2罰打)」となる。

ローカルルール

1. 使用ティーは高校男子が黒マーク、高校女子・中学男子が白マーク、中学女子が緑マーク、とする。
2. アウトオブバウンズ(規則 18.2)
アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
3. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)
 - (a) 修理地
 - (1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
 - (2) グリーンの前後やフェアウェイにあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
 - (b) 動かさない障害物
 - (1) 排水溝
 - (2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
 - (3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。
 - (c) プレー禁止区域 電磁誘導カート用のコンクリート軌道は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1f に基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
4. 不可分な物
以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
 - (a) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - (b) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
5. 規則 11.1b 例外2に基づいてパッティンググリーンから行われたストロークを再プレーしなければならないケース(ローカルルールひな型D-7)
 - ・そのプレーヤー
 - ・そのストロークを行うためにそのプレーヤーによって使用されたクラブは、または、
 - ・ルースインペディメントとして定める動物(例えば、ミズ、昆虫や簡単に取り除くことができる類似の動物)。
そのストロークはカウントし、球はあるがままにプレーしなければならない。
6. 後方線上の救済(ローカルルールひな型E-12)
このローカルルールは規則 16.1c(2)、17.1d(2)、19.2b、19.3bを採用する場合に適用する。
7. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り換え
ローカルルールひな型G-9を適用する。
8. クラブと球の規格
 - (a) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
 - (b) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格
9. ゴルフシューズ
ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:
伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋳を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。
このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照
10. プレーの中断と再開(規則 5.7)
 - (a) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)
委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格
即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった

練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

通常プレーの中断 : カートナビで通報する。

険悪な気象状況による即時中断: カートナビで通報する。

プレーの再開 : カートナビで通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

11. 練習(規則 5.2)

(a) ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

このローカルルールの違反に対する罰:

最初の違反の罰 : 一般の罰(プレーヤーの最初のホールに適用される)

2回目の違反の罰 : 失格

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

2. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレーヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

3. 競技終了時点

競技委員長が最終確認後にホームページに掲載された時点をもって終了したものとみなす。

4. タイの決定方式

タイスコアは10番からのマッチング・スコアカード方式で順位決定する。

■ 距離表

HOLE No.	tee	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
高校男子	黒	519	373	375	412	172	582	337	188	407	3365
高校女子・中学男子	白	487	336	346	376	148	541	321	161	384	3100
中学女子	緑	445	346	336	340	148	541	321	124	345	2946

HOLE No.	tee	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
高校男子	黒	424	530	428	556	152	388	407	204	379	3468	6833
高校女子・中学男子	白	396	498	382	527	130	341	371	181	361	3187	6287
中学女子	緑	309	469	382	463	130	341	337	155	361	2947	5893

注意事項

1. アテスト終了後は、速やかにスコアリングエリアから退場すること。
2. ローカルルール6項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
3. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(24球)を限度とする。
5. 無断欠席者とスコアカード未提出の者は、1年間主催競技の出場を認めない。
6. 前の組と16分以上遅れた場合は、ペナルティーを科すことがある。

競技委員長 矢野 英明

第11回関東小学生ゴルフ大会 新潟・群馬ブロック予選

開催日：2022年5月8日（日） 開催コース：赤城ゴルフ倶楽部

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「**一般の罰(2罰打)**」となる。

ローカルルール

12. 使用ティーは高校男子が黒マーク、高校女子・中学男子が白マーク、中学女子が緑マーク、小学生赤マークとする。
13. アウトオブバウンズ(規則 18.2)
アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
14. 異常なコース状態(動かさない障害物を含む)(規則 16)
 - (c) 修理地
 - (1) 青杭を立て、白線で囲まれた区域。
 - (2) グリーンの前後やフェアウェイにあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
 - (d) 動かさない障害物
 - (1) 排水溝
 - (2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらはひとつの動かさない障害物として扱われる。
 - (3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

(c)プレー禁止区域 電磁誘導カート用のコンクリート軌道は、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。規則 16.1fに基づき、そのプレー禁止区域による障害からの罰なしの救済を受けなければならない。ただし、スタンスだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
15. 不可分な物
以下の物は不可分な物であり、無罰の救済は認められない。
 - (c) 樹木やその他の恒久的な物件に巻きつけたり、密着させてあるもの。
 - (d) ペナルティーエリア内にある人工の壁や杭でできた構造物。
16. 規則 11.1b例外2に基づいてパッティンググリーンから行われたストロークを再プレーしなければならないケース(ローカルルールひな型D-7)
 - ・そのプレーヤー
 - ・そのストロークを行うためにそのプレーヤーによって使用されたクラブは、または、
 - ・ルースインペディメントとして定める動物(例えば、ミミズ、昆虫や簡単に取り除くことができる類似の動物)。

そのストロークはカウントし、球はあるがままにプレーしなければならない。
17. 後方線上の救済(ローカルルールひな型E-12)
このローカルルールは規則 16.1c(2)、17.1d(2)、19.2b、19.3bを採用する場合に適用する。
18. 壊れた、または著しく損傷したクラブの取り換え
ローカルルールひな型G-9を適用する。
19. クラブと球の規格
 - (c) ストロークを行うために使うドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド(モデルとロフトで識別される)を持つものでなければならない。
 - (d) ストロークを行うときに使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されていなければならない。

このローカルルールの違反に対する罰:失格
20. ゴルフシューズ
ラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない:
伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋲を有するスパイク(メタル製、セラミック製、プラスチック製、その他の材質かは問わない)。
このローカルルールの違反に対する罰:規則 4.3 参照
21. プレーの中断と再開(規則 5.7)
 - (d) 即時中断(落雷等、切迫した危険がある場合)
委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない、委員会がプレーを再開するまでは別のストロークを行ってはならない。
このローカルルールの違反に対する罰:失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレイヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(e) 通常の中断(日没やコースがプレー不能)

規則 5.7b,c,d に従って処置すること。

(f) プレーの中断と再開の合図

通常プレーの中断 : カートナビで通報する。

険悪な気象状況による即時中断: カートナビで通報する。

プレーの再開 : カートナビで通報する。

と同時に、本部より競技委員を通じてプレイヤーに連絡する。

22. 練習(規則 5.2)

(a) ホールとホールの間、プレイヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

このローカルルールの違反に対する罰:

最初の違反の罰 : 一般の罰(プレイヤーの最初のホールに適用される)

2回目の違反の罰 : 失格

競技の条件

5. 参加資格

プレイヤーは「競技規定」で定められる参加資格を満たしていなければならない。

6. スコアカードの提出

スコアリングエリア方式を採用する(プレイヤーの両足がエリアから出た時点をもって提出されたものとみなす)。

7. 競技終了時点

競技委員長が最終確認後にホームページに掲載された時点をもって終了したものとみなす。

8. タイの決定方式

タイスコアは10番からのマッチング・スコアカード方式で順位決定する。

■ 距離表

HOLE No.	tee	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
小学生	赤	363	300	336	340	133	480	253	124	321	2650

HOLE No.	tee	10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
小学生	赤	309	387	297	391	116	277	296	143	297	2513	5163

注意事項

7. アテスト終了後は、速やかにスコアリングエリアから退場すること。

8. ローカルルール6項において規制されるシューズ以外でもグリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。

9. プレーヤーにエチケット違反、または非行があった場合には「行動規範」に基づいて制裁を受けることがある。また重大な非行があった場合には規則 1.2a および 20.2 に基づいて失格とする場合がある。

10. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は1人1箱(24球)を限度とする。

11. 無断欠席者とスコアカード未提出の者は、1年間主催競技の出場を認めない。

12. 前の組と16分以上遅れた場合は、ペナルティーを科すことがある。

競技委員長 井草 洋一